



3月2日から31日まで担当課窓口などで閲覧できます

頂いた意見と市の検討結果を公表します

Public Comment

広報誌などで意見募集した各計画（案）などについて、頂いた意見と市の検討結果を、3月2日（月）から31日（火）まで公表します。公表方法は市ホームページへ掲載するほか、担当課窓口、市役所2階の市政情報コーナー、各公民館、大和行政センター、中央図書館、アステ市民プラザ、パレットかわにしなどで閲覧できます。各計画（案）などと担当課は次の通りです。

【第6次障がい者福祉計画（第4期障がい福祉計画）（案）】

市役所1階の障害福祉課 ☎（740）1178

【指定介護予防支援事業所・地域包括支援センターに関する条例（案）要綱】

市役所1階の長寿・介護保険課 ☎（740）1174

【高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画

（案）】

市役所1階の長寿・介護保険課 ☎（740）1174

【中心市街地活性化基本計画（案）】

市役所3階の産業振興課 ☎（740）1162

【中学校給食推進基本方針（案）】

市役所3階の学務課 ☎（740）1256

【新名神高速道路インターチェンジ周辺土地利用計画（案）】

市役所5階の都市計画課 ☎（740）1201

【景観計画（案）】

市役所5階の都市計画課 ☎（740）1201

【（仮称）景観条例（案）要綱】

市役所5階の都市計画課 ☎（740）1201

【中央北地区低炭素まちづくり計画（改定案）】

市役所5階の地区整備課 ☎（740）1207

【公共交通基本計画（案）】

市役所5階の都市・交通政策課 ☎（740）1181

子どもの人権オンブズパーソン 2014年次活動報告会

子どもが尊重され参画する社会づくりを一緒に考えてみませんか



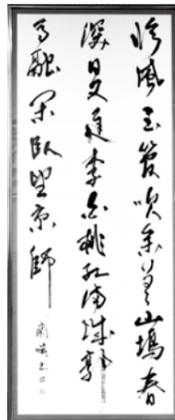
「子どもが参画する社会に向けて」をテーマに、第1部では「2014年次のオンブズ活動報告」、第2部ではオンブズパーソンほか「地域に子どもたちの「居場所」を創る」をテーマに座談会を。当日会場へ。

とき＝3月21日（祝）午後1時半～4時（午後1時開場）▷ところ＝アステ川西6階アステホール▷定員＝150人▷問合せ＝子どもの人権オンブズパーソン事務局 ☎（740）1235へ

市内外から283点の応募が 市展特別賞が決まる

青木賞に山田蘭咲さん「山閣間笛」
平通賞に米田三枝さん「ダリア咲く」

2月10日から14日まで文化会館で市展が開催されました。特別賞の青木賞には書部門から山田蘭咲さん（東多田3）の「山閣間笛（さんかくにふえをきく）」、平通賞には日本画部門から米田三枝さん（姫路市）の「ダリア咲く」が選ばれました。各賞は川西市ゆかりの青木大乗、平通武男両画伯にちなんで設けられています。詳しくは文化・観光・スポーツ課 ☎（740）1161へ。



青木賞「山閣間笛」



平通賞「ダリア咲く」

心理学科「心の種々相を観察しましょう」

ドイツで誕生した科学的心理学は人間の心と行動の性質やメカニズムに関する新しい発見を続けています。4年制大学レベルの科学的心理学のさまざまな研究領域の基礎知識と、現在進行中の研究の知見について解説します。

回	主題	内容
1	心理学への招待	心のフィルター
2		自己と他者
3	感覚と知覚	人を知る始めの一步（1）
4		人を知る始めの一步（2）
5	乳児の発達（1）	認知の発達
6	青年期の発達	道徳性の発達
7		アイデンティティの確立
8	モチベーションの心理学	やる気、意欲のしくみ
9	臨床心理学	臨床心理学の特徴
10		心理援助職の役割
11	社会心理学	社会的認知
12		セルフコントロール
13	信頼のコミュニケーション	価値の共有がキーポイント
14	感情とは	もっとも人らしい反応
15	感情と言葉、語り	言葉のチカラ
16	顔の心理学	顔認知のメカニズム
17		顔の表情、性別、視線、魅力などの認知への影響
18	乳児の発達（2）	母子のコミュニケーション
19	交流分析	心の構造を知りましょう
20		心と心のふれあい方を考えましょう

講師：同志社大学心理学部教授の内山伊知郎さん ほか

スポーツ健康科学科「スポーツ健康科学への誘い」

人々の健康増進を図るために必要な正しい知識やスキルの獲得とともに、自律・自立的で豊かなヘルシーライフとスポーツライフの形成に資する能力の獲得をめざすことを目的とします。

回	主題	内容
1	スポーツ健康科学への誘い	ガイダンス：文理融合のスポーツ健康科学
2	スポーツ健康科学概論	国民の健康とQOLに果たすスポーツ健康科学の役割
3	中高齢期における運動と栄養摂取	介護予防に向けた運動と栄養摂取
4	栄養摂取の考え方	自宅で気軽にできる運動の理論と実践
5	ライフステージと発育発達段階に応じた運動・スポーツ指導	学校体育の過去・現在・未来
6		競技スポーツ（部活動）と学校体育で身につけるべき技能の違い
7		それぞれの立場での運動・スポーツを「する・みる・支える」
8	ケガをしない身体づくり：元気で長生き	身体活動と健康寿命
9		転倒予防で健康寿命アップ
10		腰痛と熱中症予防
11	加齢に伴う姿勢・運動メカニズム	加齢による運動機能の変化
12		加齢により変化する運動機能の評価
13		高齢者に対する運動療法の実践
14	身体・運動・健康の関連性	身体活動と健康との関連：健康寿命の延伸
15		肥満・痩せと健康との関連：サルコペニア
16	栄養学的支援と食教育の効果	栄養学・スポーツ栄養学の基本
17		食教育活動の事例報告
18		スポーツマンシップについて考える
19	スポーツと社会とのつながり	スポーツ振興とまちづくり
20		価値を普及させるために大切なマーケティング

講師：立命館大学スポーツ健康科学部教授の田畑泉さん ほか

生涯学習短期大学 レフネック

専門的に学ぶ2年間
締め切りは3月31日

生涯学習短期大学レフネックが学生を募集。同大学では、1つの学科を2年間にわたり、専門・系統的に学びます。27年度は左表の通り「心理学科—心の種々相を観察しましょう」と「スポーツ健康科学科—スポーツ健康科学への誘い」の2学科を開講。詳しくはまなび支援室 ☎（757）8481へ。

今年「心理学科」と「スポーツ健康科学科」と「心理学科」「スポーツ健康科学科」は8月を除く5月23日、11月28日の毎土曜日（原則）午後2時～3時半にアステ川西6階アステ市民プラザで開講します。対象は、市内在住・在勤者で、修了するまでの2年間、協調性を持ってやり遂げ

る学習意欲のある人。定員は各学科100人で、受講料は年1万5000円（資料代別）です。申し込みはまなび支援室、市役所1階正面案内、アステ市民プラザ、中央図書館、つなホール、総合体育館、パレットかわにし、各公民館、大和行政センターに備え付けの入学案内書巻末の往復ハガキに必要事項を書き、3月31日（必着）までに生涯学習短期大学へ。なお、入学案内書は、3月3日（火）から各施設に設置します。

定員超過の場合は、4月11日（土）に公開抽選（今までに応募して抽選に外れ一度も入学できなかった人に、各学科30人の優先枠あり）。定員に満たない場合は4月18日（土）まで同大学で受け付けます（先着順）。